い寺と伝えられ、裏墓地には鉄牛和尚（塙団右衛門）の卵塔や藩主本多忠政、政朝の五輪塔（空風輪のみ）などもある。境内には江戸時代、寛延2年に起きた船場川の洪水の犠牲者を弔う菩提碑がある。

る舟入川は荷物の積み下ろし場や船溜まりであった。
現在もその名残りがあり、川沿いの児童公園として使われている。往時は材木商が数軒あり、姫路城の造営や町家に材木を供給していた。1軒の材木商が今も営まれている。

④飾磨県庁跡

明治4年（1871）姫路県（のち飾磨県）が発足し、後飾磨県庁舎がここに建ち、行政の中心地となった。飾磨県廃止後、旧庁舎は姫路赤十字病院となり、平成14年の移転まで病院地であった。
大正、昭和の良き建物は惜しまれながら解体された。隠れた桜の名所。

⑨船つなぎ石

車門前より西に通じる西国街道の北側住宅の庭にある巨石は、元は船場川岸にあり、高瀬船をつないだ岩と言われている。この辺りにあった豪商の庭に移されていたものが公開されている。
※現地には説明板が設置されている。

⑤西国街道

京・大阪より姫路城下を通り、西国・九州方面に通じていた主要街路。
福中門から北上し、龍野町を通っていた。往時には姫路一の繁華な街道筋であった。現在も町家が点在し、姫路初の商店街の面影が残る。

⑩景福寺山頂 姫路城主 松平明矩の墓所

明矩は徳川家康二男、結城秀康の子孫で、以前姫路城主であった松平直矩の孫にあたる。寛保元年（1741）、白河より転封し、七年間城主を務めた。この時に、姫路藩内では大規模な百姓一揆が発生した。

スタンプ捺印記念品プレゼント！

▲お店や工房の目印は、じょうのすけ・せんひめイラストプレートです。
※記念品が無くなり次第、キャンペーンを終了いたします。

□の番号のお店や工房を利用するとスタンプがもらえます。
姫路駅の姫路観光なびポートで**スタンプ2個**を見せて地域限定の**記念品をゲットしよう！**

印　印

無断転用禁止 ©2016船場城西の会

姫路「船場城西・城南」遊歩

- ●ブルー色丸枠の番号は地域内の名所、別記説明があります。
- ●薄茶色の箇所は、なつかしい風景や建物があります。
- ●緑色の箇所は、町名由来板があります。
- ■各色角の番号は別記、気になるお店や工房の位置。きっと何かが。

◆各コースの道しるべ

- 藩ゆかりの寺と西国街道
- 城郭門蹟と城下町巡り
- 姫路城ビューポイントを訪ねて
- 城を支えた技に触れ、名産を味わう
- たそがれの城下町で、ほろよい気分

船場八景

姫府船場八景は天保10年（1839）頃、船場庶民の作った和歌から、酔月亭鷺雪が選出したと言われる。

①男山秋月
②愛宕晴嵐
③梅雨松夜雨
④景福寺晩鐘
⑤薬師暮雪（説明板不明）
⑥福中橋夕照
⑦鹿川帰帆
⑧水車落雁（説明板不明）

トイレ　コンビニ　公営駐車場
神姫バス バス停　ループバス バス停　交番　郵便局
※地図内、位置表示のマークです。

INFORMATION

◆船場御坊楽市

秀吉により龍野町に楽市が開かれた1580年から時を経て、楽市がよみがえり、市指定文化財のお寺の境内に手づくり品が並びます。

毎年3・5・7・9・12月
第1日曜日 9:00～12:00
❶船場本徳寺

◆船場城西まちなび

◆姫路観光なびポート
JR姫路駅コンコース北西側
Tel:079-287-0003

◆歴史と出会えるまちづくり船場城西の会
船場城西の観光、イベント情報を発信しています。
事務局／下山裕史
〒670-0035 姫路市琴岡町266-1
Tel:090-3351-7965
Fax:079-296-0378

お店・工房の営業メニュー＜記号＞

L ランチ　C カフェ　D ディナー
B バー　T テイクアウト
S お土産　E 体験　V 見学
※右記、一覧表に表示しています。